

年 度	グ ル ー プ 数	参 加 者 数	参 加 率
昭 和 4 0 年	460	29,000	3.7%
〃 4 5 年	519	25,550	4.0%
〃 5 0 年	550	43,116	6.0%

ウ 婦人団体活動については、団体運営、学習活動を通し、個人の成長をはかり、市民性を高め、奉仕活動、社会活動等を活発に行なうよう、団体活動を助長する。

エ 婦人団体活動をさかんにするにはリーダーの養成が必要である。団体自体のリーダー養成に協力することはもちろんであるが、県の施策としては各種団体、グループの婦人指導者の育成を計画的に実施し、民主的な運営と時宜をえた活動が行なえるようリーダーの育成を行なう。

オ 健全なる団体の運営、活動を助長するため、必要資料を作成し提供する。

〔事業計画〕

事 業 名	事業主体	昭 和 4 0 ～ 4 5 年 度		昭 和 4 6 ～ 5 0 年 度	
		事 業 内 容・事 業 量	事 業 費	事 業 内 容・事 業 量	事 業 費
婦 人 教 育 研 究 活 動	県	婦人に関する教育・文化・産業・生活・団体活動等について視察研修し婦人教育の振興に資する 10名 先進県 2 県 単年度経費 昭40～42 300千円 昭43～45 400千円	千円 2,100	婦人に関する教育・文化・産業・生活等について実地視察研究する 30名～50名 県外 2県 県内 2か所 単年度経費 500千円	千円 2,500
婦 人 団 体 指 導 者 研 修 会	県	各種婦人団体リーダーの相互理解と団体の運営・活動等について研究協議する 県内 4 か所 地域婦人団体・農協婦人部・生活改善グループ・有志婦人グループ等 770名 単年度経費 200千円	千円 1,200	婦人団体の活動に必要な知識・技能・態度について研究する 県下 1 会場 各種婦人団体の役員リーダー等 100名 単年度経費 200千円	千円 1,000

4 社会教育施設の整備充実

(1) 公民館

〔施策設定の理由〕

社会の進展に伴い、ますます複雑化する社会にあって、生活の向上をめざす青少年、成人の自主的学習活動がいろいろな形で行なわれている。これら学習活動の場となる公民館のうち独立施設としての公民館は、第1図のとおり新築または転用のものが全体の58%で、他は、役場または教育委員会等の建物に併置されている現状である。地域住民の要請にこたえ